こちょうらんの育て方

初夏から初秋まで（6，7，8月まで）☆夏バージョン

良い置き場所○ ― 温度２０～27℃、湿度６０%、日光５０%

とにかく涼しいところ。冷房の入った室内（ただし、冷房の直風が当たるところはダメ。）
風通しの良いところ。冷房の効いた部屋なら、オフィス、マンション内はどこでもOK！
＊置き場所はあまり変えないほうが良い。置いた場所の環境に胡蝶蘭が慣れてくるため。

悪い置き場所 × ― 直射日光が当たる場所、35℃以上の場所

窓際などは光が強すぎて葉っぱが焼けるので、もし窓際に置くときは窓から１～2m離して
置いてください。夏はかなりの高温になるので、閉め切った部屋へは置かないでください。

水やり ― 水は月に１～２回。タップリ与えてしっかり乾かす。

出荷時は水を与えていますので、２週間後にラッピングを外してタップリと与えてください。
その後は、鉢の中の奥の方まで乾いていたらあげてください。湿っていたらあげてはいけません。
＊ポイント→２週間おきぐらいに、指を鉢の中に２、３ｃｍほど突っ込んでみて、中の方が
湿っているようであればまだ与えてはいけません。しっかりと乾いているようでしたら、
タップリ与えてください。水やりはメリハリが大切です。（タップリ与えて、しっかり乾かす。）
病院など日中も夜間もエアコンが常に入ってる所、常時 20℃～ 25℃で空調が回っているところは
鉢がよく乾きますので、２週間毎に１回タップリお水を与えてください。

霧吹き ― 天気の良い日の午前中に１回（できるだけ毎日）。

湿度を十分に保つため、正午までにスプレーでお花全体にシュシュシュっと吹きかけてください。
『花』…花の裏側からスプレーしてください。（表から吹きかけると受粉して花が落ちるため）
『つぼみ』…花を咲かせるために、水・湿度を必要とするため、直接スプレーしてください。
『葉』…しっかりスプレーしてください。葉の全体からも水分を吸収します。
胡蝶蘭は湿度 60%の環境を好みます。スプレーノズルを調節して細かい霧になるようにして、
50 ㎝～１メートル離れたところからふんわりと与えてください。

肥料 ― 与えなくて良い。

夏は暑くて花があまり成長しようとしません。光合成も行いにくいため、肥料を吸収しないので、
肥料を与える必要はありません。

クマサキ洋ラン農園

〒753-0212
胡蝶蘭販売ランノハナドットコム
山口県山口市下小鯖２０７３
電話番号：083-927-0902
FAX：083-927-0201
mail：info@rannohana.com
HP：http://www.rannohana.com

クマサキ　検索

動画が分かりやすい！
↓

ユーチューブＹＯＵＴＵＢＥ
クマサキ洋ラン農園オリジナル
夏の育て方動画配信中！